



地場産業の採用 支援へ特命チーム

ハローワーク西陣に発足

京都労働局が、深刻な人手不足に直面する地場産業の支援に本腰を入れ始めた。今春、ハローワーク西陣（京都市上京区）に特命チームを設置し、専任職員が企業を個別訪問して人材採用の助言や提案をする伴走型支援により地元の中企業と求職者をつなぐ。

名称は「地場産業サポートチーム」。厚生労働省が全国18カ所のハローワークで実施するモデル事業として4月に発足した。京都では人手不足が慢性化する製造、運輸、卸売、小売、宿泊、飲食の6業種が対象で、職員8人が専任する。サポートチームは、ハローワークに出された求人票を休日数や賃金など独自の評価項目で採点する。総合点が高かったら、あともう一押しで就業希望者の増加が見込める企業を支援対象とし、職員が



●人手不足に悩む地元企業が参加した就職説明会。京都労働局提供。●職業体験イベントで京印章の職人の指導を受ける子どもら（ともに京都市中京区・ハローワーク西陣烏丸御池庁舎）

人手不足解消へ 会社PR助言・キャリア教育も

訪問して会社紹介やPRのコツなどを助言する。事業の安定性や賃金、交通アクセスなどを示したリーダーチャートのほか従業員の口コミを載せたPRシートも作成し、企業説明会などで発信する。

今後は未来の担い手を育てるキャリア教育として、旅館や西陣織、運送などの仕事に触れる子ども向けイベントを開催した。京都府技能振興コーナー（伏見区）と連携した日は、小学生が京印章の熟練職人の手ほどきを受け、好きな漢字一字を彫り出したはんこを作った。

チームは7月までに計140社を訪問した。これまでに応募の増加や新規採用といった効果も一部で見られるという。12月には幅広い業種や世代を集めた「就職・求人フェア」を開催する。同局は「求人充足に効果的だった施策は他のハローワークにも広げる」としている。

（井上真央）



京都新聞社
The Kyoto Shimbun Co., Ltd.